



アジェンダ

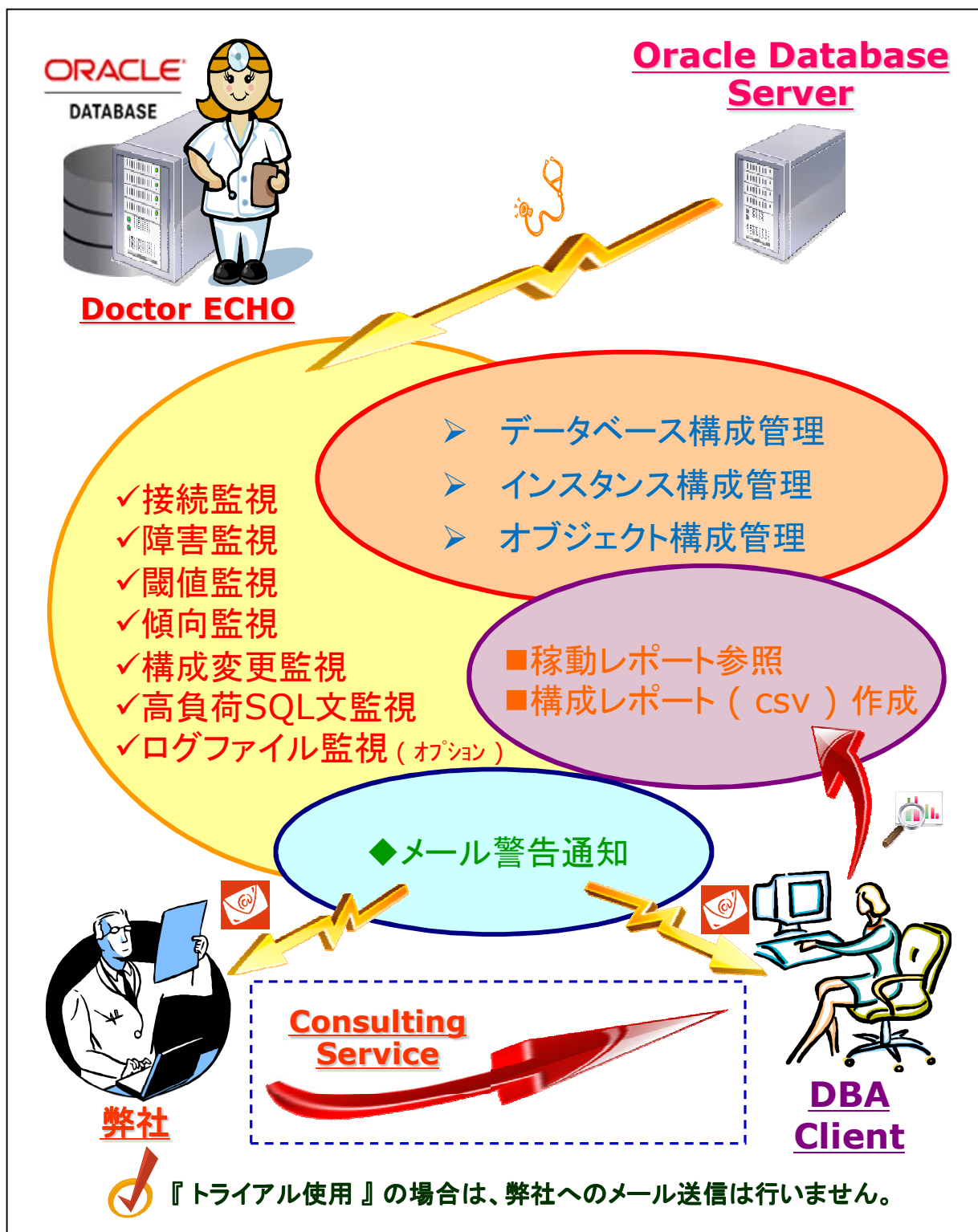
1	概要	・ ・ ・	2
2	システム構成図	・ ・ ・	3
3	システム要件	・ ・ ・	4
4	特徴	・ ・ ・	6
5	仕様	・ ・ ・	7

1 概要

Oracleデータベースの健全な状態をチェックする企業向けの監視ツール

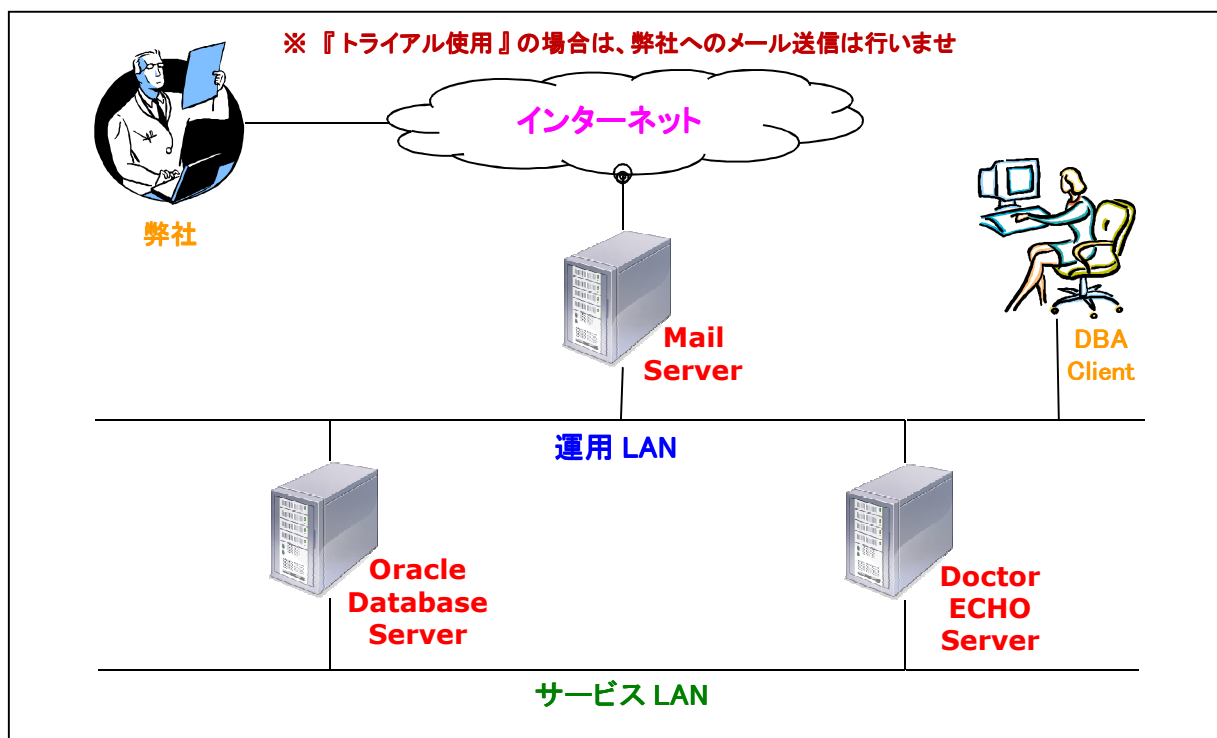
定期的に Oracleデータベースの稼動状況を収集し、障害の予兆を分析する事によって、Oracle管理者（DBA）に対し早期に警告メールを通知し、稼動状況も見える化レポートで報告します。

【概要図】



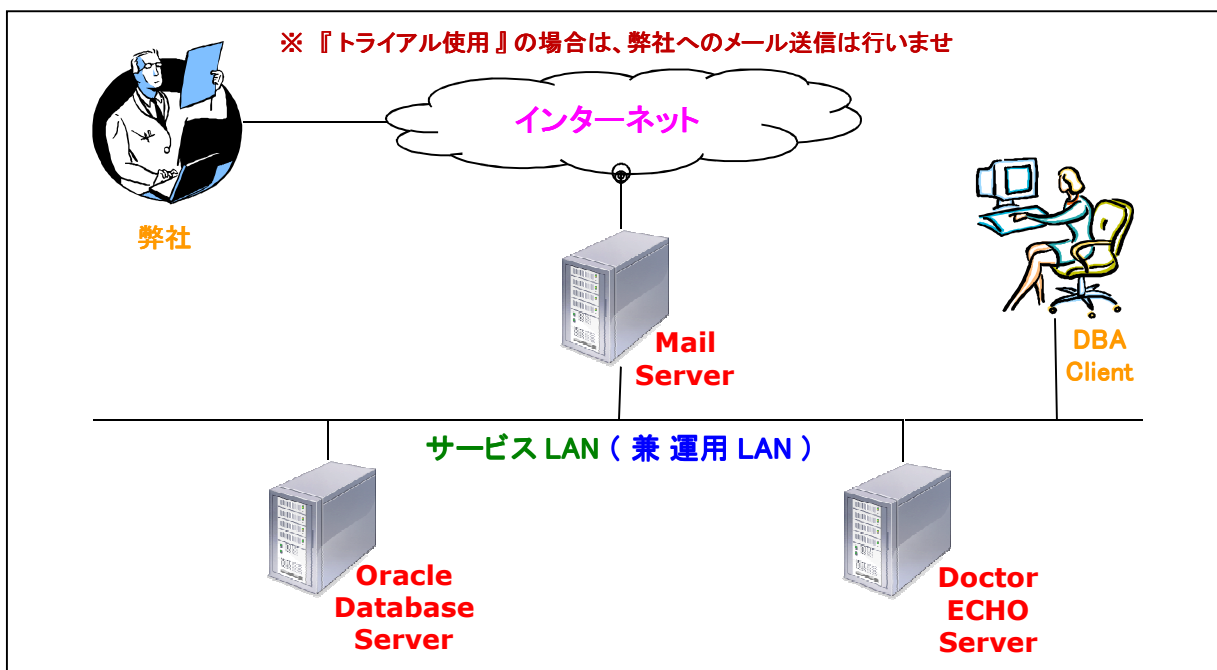
2 システム構成図

● サービス LAN と 運用 LAN を分けたシステム構成の場合



- ※ Oracle Database Server への接続監視は、サービス LAN を使用し、Oracle Database Server の稼働状況収集は、運用 LAN を使用します。
- ※ Mail Server を使用し、DBA Client および弊社宛にメールを送信します。

● サービスLAN（兼 運用 LAN）のみのシステム構成の場合



- ※ Oracle Database Server への接続監視も、Oracle Database Server の稼働状況収集も、全てサービス LAN を使用します。
- ※ Mail Server を使用し、DBA Client および弊社宛にメールを送信します。

3 システム要件

(1) 前提条件

Doctor ECHO ソフトウェアを使用するためには、下記条件を全て満たしている必要があります。

- ① 上記システム構成図の仕様を満たしている。
- ② Doctor ECHO Server に、下記 Oracle Database のいずれかが稼動している。
 - Oracle Database Express Edition (XE) 11g Release 2 for Windows
 - Oracle Database Express Edition (XE) 11g Release 2 for Linux
- ③ 上記 Oracle Database に、下記バージョンの Oracle APEX の使用ができる。
 - Oracle Application Express (APEX) Release 4.0.2
- ④ Doctor ECHO Server に、Oracle Database Server の稼動状況を格納するための表領域として、users 表領域等の既存の表領域を併用する事もできますが、お客様の大切なデータに影響を与えないためにも、Doctor ECHO 専用の表領域を別途作成して頂く事を推奨します。Doctor ECHO 表領域の作成は、オプションです。
 - ※ 詳細は、
『 II Doctor ECHO 管理 編 』の「 1 Doctor ECHO インストール手順 」
を参照して下さい。
- ⑤ Doctor ECHO Server から、Oracle Database Server に接続ができる。
- ⑥ Doctor ECHO Server から、Mail Server の使用ができる。
 - Mail Server に Doctor ECHO 用のメールユーザ ID の作成が必要です。
 - 送信元メールアドレスは、Oracle Database Server のライセンスキー情報から Doctor ECHO が自動生成します。
詳細は、『 IV 通知メール 編 』の「 送信者 」を参照して下さい。
- ⑦ Mail Server から、DBA Client および弊社宛てにメールの送信ができる。
 - 弊社メールアドレス : doctor_echo_support@echo-s.co.jp
 - ※ Doctor ECHO カスタマサポート
 - ※ 『トライアル使用』の場合は、弊社へのメール送信は行いません。
- ⑧ DBA Client は、メールの受信およびブラウザの使用ができる。

(2) Oracle Database 監視対象

Doctor ECHO ソフトウェアがサポートする Oracle Database の監視対象は、下記の通りです。

① バージョン

- Oracle Database 9iR2 , 10gR2 , 11gR1 , 11gR2 , 12cR1 , 12cR2 , 18c

※ 10gR1 は、サポート対象外です。

② エディション

- Enterprise Edition , Standard Edition , Standard Edition One , Standard Edition 2

③ サーバ（データベース）構成

- シングル構成 , High Availability（HA）構成 , Real Application Clusters（RAC）構成

※ RAC One Node 構成は、サポート対象外です。

※ マルチテナント構成の CDB および 複数 PDB を監視対象とする事は、サポート対象外です。

但し、1 CDB に対して 1 PDB のみを監視対象とする事は、上記のサーバ構成としてサポート対象です。

4 特徴

- ① Doctor ECHO ソフトウェアは、Oracle Database Express Edition (XE) 11g Release 2 および Oracle Application Express (APEX) Release 4.0.2 のアプリケーションとして動作します。
- ② Oracle Database Server に一切のソフトウェアをインストールしません。
従って、エージェント等のプロセスも起動しません。
- ③ Oracle Database Server に一切のオブジェクトも作成しません。
但し、オプションのログファイル監視を行う場合は、別途オブジェクトの作成が必要となります。
- ④ Oracle Database Server に与える負荷は、DBA が日常の運用管理等で、静的データディクショナリビュー や 動的パフォーマンスビューを検索する程度の負荷とお考え下さい。
稼働状況の分析処理は、Doctor ECHO Server に収集した情報のみで行いますので、Oracle Database Server に余計な負荷を与える事はありません。
- ⑤ Doctor ECHO ソフトウェアを使用するためには、メールによるライセンスのお申し込み手続きが必要です。
Oracle Database Server に関する必要事項を記載し、ライセンス No を取得し、Doctor ECHO ソフトウェアのインストール後、取得したライセンス No (ライセンスキー) のセットアップが必要です。
但し、『トライアル使用』の場合は、メールによる弊社へのライセンスのお申し込み手続きは不要です。

● トライアル使用 : Trial License — ライセンス No の取得は不要

● フリー使用 : Free License — ライセンス No の取得が必要

※ ライセンス No の取得は、別紙『Oracleデータベース定期健診サービス』の「お申し込み方法」を参照して下さい。

- ⑥ 『トライアル使用』の場合は、メールによる弊社へのライセンスのお申し込み手続きが不要で、弊社へのメール送信も行わず、全ての機能を1週間ご使用して頂けます。
是非、ご評価下さい。

※ 詳細は、
『Ⅱ Doctor ECHO管理 編』の「1 Doctor ECHO インストール手順」
および
『Ⅲ ライセンスキー管理 編』の「1 ライセンスキーセットアップ手順」
の★『トライアル使用』★を参照して下さい。

- ⑦ 『トライアル使用』から『フリー使用』への変更は、「Doctor ECHO の再インストール」および「ライセンスキーの再セットアップ」が必要となり、『トライアル使用』で収集した稼働状況を引き継ぐ事はできません。
ご注意下さい。

※ 詳細は、
i 『Ⅲ ライセンスキー管理 編』の「10 ライセンスキーアンセットアップ手順」
ii 『Ⅱ Doctor ECHO 管理 編』の「9 Doctor ECHO アンインストール手順」
iii 『Ⅱ Doctor ECHO 管理 編』の「1 Doctor ECHO インストール手順」
iv 『Ⅲ ライセンスキー管理 編』の「1 ライセンスキーセットアップ手順」
を参照して下さい。

5 仕様

- ① Doctor ECHO ソフトウェアをインストールすると、Doctor ECHO Server の Oracle Database に echo ユーザが自動的に作成されます。

- ② Doctor ECHO ソフトウェアは、下記の監視ジョブを作成し、Doctor ECHO Server の稼動状況および登録されているライセンスキーの状況に問題が発生していないかをチェックします。

● Doctor ECHO Management ジョブ

※ 詳細は、
『 IV 通知メール 編 』の「 1 Doctor ECHO Management 通知メール 」
を参照して下さい。

- ③ Doctor ECHO Server の稼動状況監視スケジュールは、下記の通りです。

● 監視ジョブのスケジュール : 毎日 0 時 0 分

- ④ Doctor ECHO ソフトウェアは、下記データベーストリガーを作成し、Doctor ECHO Database の起動・停止を行うと、その旨の通知メールを送信します。

● Doctor ECHO Database 起動データベーストリガー

● Doctor ECHO Database 停止データベーストリガー

※ 詳細は、
『 IV 通知メール 編 』の「 1 Doctor ECHO Management 通知メール 」
を参照して下さい。

- ⑤ Doctor ECHO Server から Oracle Database Server への接続ユーザは、静的データディクショナリビュー と 動的パフォーマンスビューにアクセスできるユーザであれば、system ユーザ等の既存ユーザを併用する事もできますが、お客様の大切なデータにアクセスできない、Doctor ECHO 専用の接続ユーザを別途作成して頂く事を推奨します。Doctor ECHO ユーザの作成は、オプションです。

※ 詳細は、
『 II Doctor ECHO 管理 編 』の「 1 Doctor ECHO インストール手順 」
を参照して下さい。

- ⑥ ライセンスキーをセットアップすると、下記の監視ジョブを作成し、Oracle Database Server の稼動状況を収集し、分析し、警告が発生していれば、警告レポートをメールにて通知します。

● ライセンスキー Database ジョブ

※ 詳細は、
『 IV 通知メール 編 』の「 2 ライセンスキー Database 通知メール 」
を参照して下さい。

● ライセンスキー Instance ジョブ

※ 詳細は、
『 IV 通知メール 編 』の「 3 ライセンスキー Instance 通知メール 」
を参照して下さい。

- ⑦ Oracle Database Server 稼働状況監視ジョブのスケジュールは、下記の通りです。
- 監視ジョブのスケジュール : 毎時 0, 10, 20, 30, 40, 50 分
 - ※ 短時間による急激な変化や瞬間的な高負荷等については、検知する事ができない可能性があります。
- ⑧ Oracle Database Server 稼働状況監視ジョブで収集した Oracle Database の稼働状況（稼働データ）は、下記 URL から Doctor ECHO Server にログインする事で参照できます。
- URL : <http://<HOSTNAME>:<PORT>/apex/f?p=1:1>
 - Doctor ECHO ユーザ名 : echo
 - Doctor ECHO Management 稼働レポート
 - ※ 詳細は、
『 V 稼働レポート 編 』の「 1 Doctor ECHO Management 稼働レポート 」
を参照して下さい。
 - ライセンスキー Database 稼働レポート
 - ※ 詳細は、
『 V 稼働レポート 編 』の「 2 ライセンスキー Database 稼働レポート 」
を参照して下さい。
 - ライセンスキー Instance 稼働レポート
 - ※ 詳細は、
『 V 稼働レポート 編 』の「 3 ライセンスキー Instance 稼働レポート 」
を参照して下さい。
- ⑨ Oracle Database Server 稼働状況監視ジョブで収集した Oracle Database の稼働状況（稼働データ）は、下記の仕様に運用管理しています。
- ライセンスキー Database ジョブ
 - ◆ Database 稼働 Summary データ
 - ・ 稼働データの管理単位 : 1 日単位
 - ・ 稼働データの保存期間 : 1 年保管
 - ◆ Database 稼働 Detail データ
 - ・ 稼働データの管理単位 : 10 分単位
 - ・ 稼働データの保存期間 : 1 か月保管
 - ライセンスキー Instance ジョブ
 - ◆ Instance 稼働 Summary データ
 - ・ 稼働データの管理単位 : 1 時間単位
 - ・ 稼働データの保存期間 : 3 か月保管
 - ◆ Instance 稼働 Detail データ
 - ・ 稼働データの管理単位 : 10 分単位
 - ・ 稼働データの保存期間 : 1 か月保管

- ⑩ 下記の監視機能は、オプションです。
監視機能を有効にするためには、別途、各監視機能の有効化を実施して下さい。
尚、有効 / 無効の切り替えは、ライセンスキーセットアップ後（運用中）でも可能です。
- リスナーログファイル監視
 - アラートログファイル監視
 - ASM アラートログファイル監視
 - CRS アラートログファイル監視
- ※ 詳細は、
『Ⅱ Doctor ECHO 管理 編』の「1 Doctor ECHO インストール手順」
を参照して下さい。
- ⑪ Doctor ECHO ソフトウェアの管理操作 および ライセンスキーの管理操作を行うと、
正常終了時のみ、管理操作ログとして通知メールを送信します。
- Doctor ECHO ソフトウェアの管理操作
- ※ 詳細は、『Ⅱ Doctor ECHO 管理 編』を参照して下さい。
- ライセンスキーの管理操作
- ※ 詳細は、『Ⅲ ライセンスキー管理 編』を参照して下さい。
- ⑫ Doctor ECHO Server の物理バックアップ および ECHO ソフトウェアの論理バックアップ等を
定期的 to 取得するような機能は実装していません。
別途、バックアップ・リカバリの検討をして頂き、必要であれば実装して頂く必要があります。